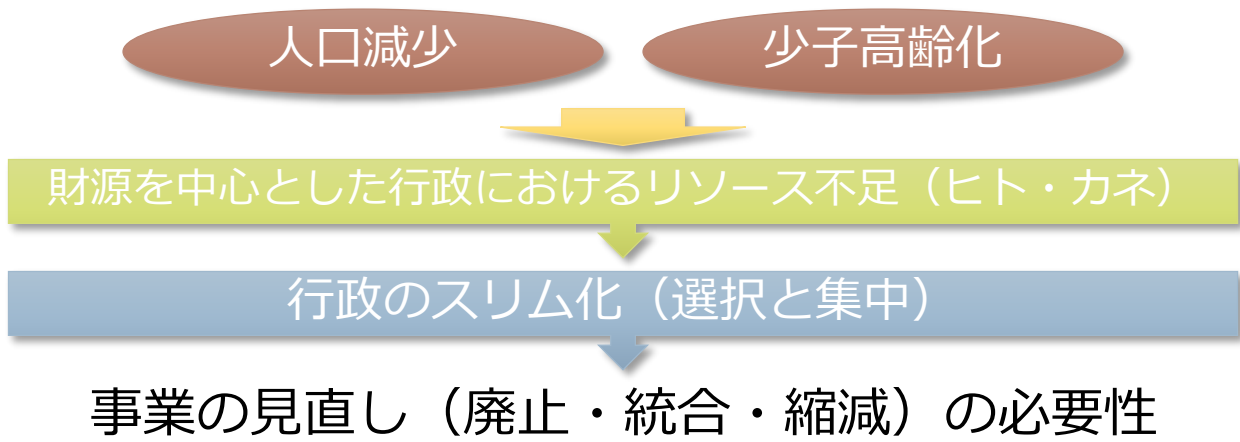
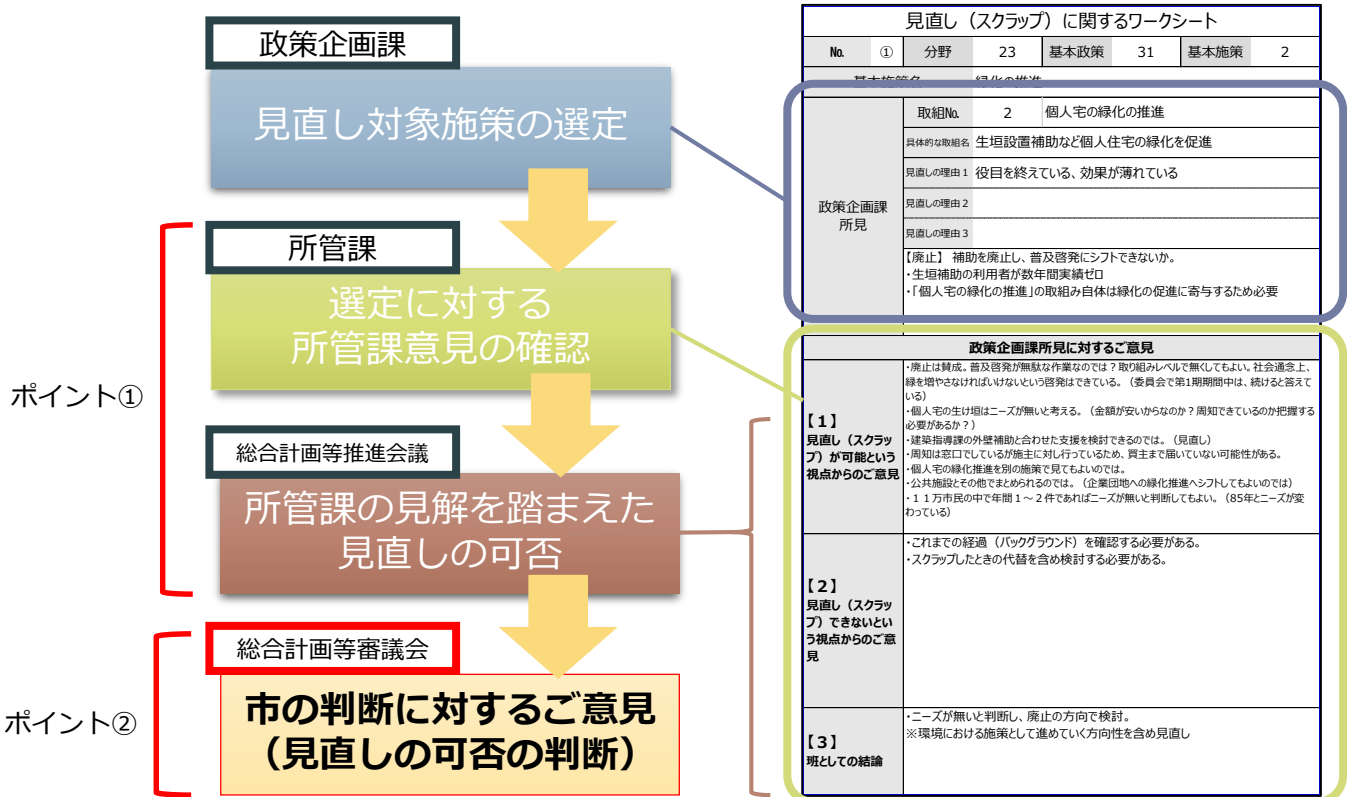


1 見直し（廃止・統合・縮減）の必要性



2 見直しの進め方

第2期基本計画の策定に向け、総合計画等審議会においては、下の流れのとおり、行政の見解や判断に対して、ご意見をいただきたいと考えています。



今回のデモを通じて整理したいポイント

- ① 行政内部での見直しの検討にあたり、どのような視点に配慮すべきか？
- ② 審議会で見直しの可否を判断するために、必要な判断材料は何か？

3 具体的な進め方

【手法】 2つのグループに分かれ、モデルケースの見直しについてご審議いただきます。

【進め方】

※最後に班の結論について簡単な発表をいただく予定のため、審議の開始前に発表するかたを決めてください。

▶各班での審議

①モデルケースの概略説明【4分】

②「見直し可能」の立場で意見交換【8分】

➔ 見直すメリット、留意点、その理由など

③「見直し不可」の立場で意見交換【8分】

➔ 見直した場合のデメリット、見直しのハードル・悪影響など

④班として、見直しの可否を判断【5分】

➔ 見直しができるかできないかの結論とその理由。

見直しできるとすれば、廃止・縮減・統合など、どのような形での見直しとするか。

※上記①～④を繰り返し、合計3つのモデルケースについてご審議頂きます。

▶各班の審議結果を共有

最初に決めた発表者の方から、各モデルケースの結論と、その理由について5分程度ご発言をお願いします。

(例：モデルケース①は「縮減できる」と考えました。その理由は...)

▶「整理したいポイント」についての意見の共有

全体で、進め方のポイントや感想（どのような視点に配慮すべきと感じたか、見直しの可否を判断するために必要な材料は何と考えるか）について、意見を共有します。

※見直しにおいて配慮すべき視点や、見直しの進め方については、本日頂いたご意見等を踏まえ、改めて整理させていただきます。

【班分け】

1班	2班
鏡会長	今井副会長
秋元委員	齊藤委員
朝賀委員	根岸委員
志摩委員	山本委員
高橋委員	吉原委員